

第10回 江別市廃棄物減量等推進審議会（要旨）

日時：平成23年2月18日（金）13：30～

場所：市民会館31号室

出席者：（委員）押谷会長・佐藤副会長・林倉委員・星委員・最上委員・金井委員・白崎委員・浅野委員・亀田委員・川守田委員（10名）

（市）三好市長・柴垣部長・松下次長・苅谷室長・種市課長・堀課長・今野参事・明石課長・渡辺主幹・福島係長・中島係長・渡邊主任・高島主任（13名）

傍聴者：1名（記者：1名）

（1）開会

種市課長：本日の出席者は、13名中10名で本審議会が成立していることを報告します。
本日は傍聴者が1名おりますのであらかじめ報告します。

（2）議事

- ① 審議事項
- 江別市一般廃棄物処理基本計画の策定について

押谷会長：市長から諮問を受けていました江別市一般廃棄物処理基本計画案については、前回のパブリックコメントを含めて審議いただき、計画案について審議会としての決定をすることが出来ました。

諮問に対する答申をしなければなりませんので、答申書についての最終文案を佐藤副会長と調整し、お配りしています。この文案について最終確認をしていただき、承認を得ましたら、その後、答申したいと思います。

私の方で、答申案を読み上げさせていただきます。

【答申案について読み上げ】

押谷会長：答申案について質疑等がありますか。

川守田委員：付帯意見に付け加えてはどうかと考えてきたことがあります。情報発信に関することです。計画を推進していく中で、結果情報を的確かつタイムリーに市民周知した方がいいと思います。情報を得ることで、市民の役割が少しずつでも変化していく可能性があります。その上で、市民が努力した結果をどう評価するのかについても合わせて考える必要があります。もっと積極的に情報発信する必要性について、ぜひ皆さんの意見を聞いてみたいと思います。

押谷会長：市民の役割は、答申書案では市民・事業者・行政が協働して必要な役割に取り組むとしてふれていますが、市民の役割は、時代によって変わってきます。その端緒となる情報発信を入れてはという意見ですが、具体的にはどのように入れた

らよいですか。

川守田委員：市の広報などには記載されていますが、一般的にはごみ処理計画がどのように作られて、どれくらい進んでいるのかまったく知らない人が多いです。ごみが適正に処理されているのは、市民の努力の賜物であることを満遍なく知らせてほしいということです。

押谷会長：ごみコミえべつなどでは、適宜排出量や大型ごみなどについてお知らせいただいています。もっと情報発信に努めるとともに市民の活動などについても評価をし、広報してはどうかということです。

種市課長：情報を共有するため、基本計画案の第4編「計画の推進等（56ページ）」に情報公開という項目を設けています。これは、かなり広い内容となりますが、情報を公開していくことに関しましては、これからも実施していきます。また、情報発信と言いますか、教育・啓発的なことは、施策の中にある広報機能の充実などで対応できると考えています。

押谷会長：川守田委員の意見は、付帯意見に一言を付け加えてはということですが。

川守田委員：提案の発想は、以前、トータルプロジェクトメンテナンスという活動をしたときに、どんな小さな改善でも行えば、評価するというか褒めたほうが良いと教育されたことにあります。小さな事でも市民の活動を広報し、褒めるということは、市の計画の中でも活かせるのではないかと思います。ただ、市の方から説明がありましたように、すでに計画の中で色々と工夫がなされていますので、あえて新たな意見としては加えなくてもいいと思います。

種市課長：付帯意見2の中で行政のすべきこととして、3者協働の推進についてありますが、ここにも関連すると思います。

佐藤副会長：付帯意見4の中で、市民ニーズの変化を捉え、適切に対応することが必要とあり、ここにも含まれるのではないですか。

川守田委員：原案からも読み取れるので、そのままでもいいと思います。

押谷会長：答申書の方で、最後の「この結果～」の段落ですが、読点が多く少し長いと思いました。例えば、ある程度段落ごとに区切ってはどうでしょうか。

佐藤副会長：異議ありません。文章を区切った方が読みやすいです。

押谷会長：それでは、段落ごとに区切るという修正についてはよろしいですか。（了）

種市課長：修正につきましては、この場で行い、修正したもので市長に答申していただきます。

押谷会長：前回、審議いただきました、パブリックコメントに関することも含まれているようですが、他に意見はありませんか。

星 委員：「鑑みる」という言葉が3箇所あります。普段から結構使われているものなのではないでしょうか。皆さんが使われているようでしたらいいのですが、少し気になりました。

押谷会長：あまり気にせずに使ってしまっていますが、他によい言い方がなかなか出てきません。どうでしょうか。このままだでもよろしいですか。（了）

他にはありませんか。（なし）

それでは、答申書についてはこれで確定とし、計画案を添付して市長に答申す

ることとします。

一昨年7月から通算して15回の審議会が開催され、審議をいただきました。貴重な意見をいただき本日答申をする運びとなりました。ありがとうございました。

以上を持って本日の審議会を終了します。

押谷会長：本日の審議とは直接関係はありませんが、答申書を修正している間に、来年度以降の審議会に向けた意見や感想をいただければと思います。

【各委員から来年度以降の審議会に向けた意見や感想あり】

種市課長：それでは、昨年10月に諮問いたしました「江別市一般廃棄物処理基本計画(案)」について、廃棄物減量等推進審議会から答申をいただきます。

【会長から市長に答申書と計画書案を手交】

種市課長：市長より一言ご挨拶を申し上げます。

【市長挨拶】

種市課長：委員の皆様には、この間本当にありがとうございました。

今後は、本日いただきましたこの答申を基本として計画を確定し、広く市民に公表してまいります。

また、新年度からは、計画に掲げました34の施策について順次取り組んで参りますが、それぞれの施策に基づく具体的な事業については、またご意見をいただくこともあろうかと思っておりますので、その際は、よろしくお願ひします。

本日は、ありがとうございました。

14：20終了